



いらっしゃいませ★
どれにしますかー？

お客さんとして来てくれた
異学年の子に、嬉しそうな表情の
5 歳児たち。あじさい組が展開
するごっこ遊びの一場面です。

大津市立田上幼稚園

令和 8 年 7 月 16 日

保育主任通信 松尾 誠史

page_22



Peppie's Pages



数日前、「どんなふうにし
たら、釣り針になって、魚が
引っかかるかなあ」と、材料
棚の前で、仕掛けを考えてい
た彼。

今ではとってもナイスな
空間が出来上がりつつあり
ます。



うまくできない、そんなときは
棒に紐を巻き付けて…短くして
…こうすれば…

と、初心者向けの釣り方の
アドバイスもしてくれる釣り
堀のおにいさん。

本当に、こういった優しい
お兄さんいるよね…。



ただただ楽しんでいる 4
歳児も、お店をやっていると
知ると、画用紙でお金や
財布を作ったりして、遊び
を自ら楽しもうとしていま
した。

そうして世界観に浸っ
て、満足したり、憧れを持っ
たりしていきます。



そして 5 歳児には、目的をもった「主体性」や、クラスの中で力を合わせて
役割を果たす「協働性」が育っています。「自分がこの店を切り盛りしてい
るんだ」「どうすれば喜んでくれるだ
ろうか」と考え、工夫し、試行錯誤
する様子が見てとれます。

7 月 11 日のイベント「幼稚園に
いらっしゃいデー」でも大盛況を収
めたあじさい組のごっこ遊び。

子どもと担任の願いが形になった
空間でした。





これこれー。みてみてー。
キュウリの葉っぱをつまんだらね、
音が鳴るんよ。きいてみてー。

サクッ

すごいでしょ！



大津市立田上幼稚園

令和8年7月14日

保育主任通信 松尾 誠史

page_21

Peppie's Pages



5歳児とともに広大な畑に
収穫に行った夏の朝。

そんな面白いことを教えて
もらった4歳児は、キュウリ
の葉っぱをつまみまくりま
す。

すごーい！ **サクサクサクサク**

えーっ！ちょっとまって！
なんで服に葉っぱついてんの？

あ、これ？これはインゲンマメ
の葉っぱなんだけど、これだけ、
なんだか服にくっつくんよ。

まあ、発見したのは〇〇ちゃん
なんだけど。

すごーい！マジックテープみたーい



植物は我々動物のように
動いて逃げたり手で身を
守ったりすることができま
せんよね。

だからキュウリのように
サクサクするような硬い葉
にしたり、インゲンマメの
ようにフック状の毛のある
葉をしているわけです。



ただの野菜の収穫にとどまらず、ひとつひとつをじっくり見つめ、問いを
もち、自ら関わろうとする力が育まれています。

しかも自分だけでなく、友達
に伝えようとしていたり、教えてあ
げようともしている田上幼稚園
の子どもたち。

豊かな自然環境が、

★ただ「見る」だけの対象から、
★積極的に「関わる」対象へと、
日々の積み重ねによって変わっ
ていっています。





園内で栽培してきたじゃがいも、玉ねぎ、豆、そして人参を使ったカレー会食を行いました。

5歳児が先日、近所のスーパーにカレールウの買い物にも出かけていってくれました。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和8年7月2日
保育主任通信 松尾 誠史
page_20



包丁を使って具材を切っていきます。3・4歳児が憧れのまなざしでクッキングする姿を見えています。

職員と協力しながら、園内でカレーを調理していきました。

あたりにはいい香りが漂っています。



田上の豊かな土で育まれた実りある新鮮な野菜と、子どもも大人もみんな愛のこもった調理で、おいしく会食することができました。

「もう一回食いたい」「あじさい組になったらやってみたい」「持ってきたご飯が少なかった」など、いろいろな声が聞こえてきました。

ううん。●●くんも畑の人参分けてくれてありがとうね。

〇〇ちゃん、ありがとう。
カレー作ってくれて。

料理をして会食をリードしてくれたのに“みんなの力でおいしく食べられたね”という気持ちが言葉に現れていたほほえましい一幕でした。





台風前の大雨で、庭には大きな水たまり。傘をさしつつ長ぐつで、ピチャピチャ入って登園です。

お昼頃、その後も強まる雨の勢いに、Aちゃんが言った一言は、「なあ、先生、雨やばいなあ」でした。



大津市立田上幼稚園
令和8年7月2日
保育主任通信 松尾 誠史
page_19



いつもと違う空模様に心を動かされ、驚きを伝えてくれたことが嬉しかったです。

「すごい・強い・怖い・大変だ」そういった言葉が「やばい」に現れているのだと思います。

しかしながら、何でもかんでも「やばい」と言うよりも、美しい日本語や豊かな表現を…と願っています。

そこで、Aちゃんの「先生、雨やばいなあ。」に、私は「本当だね。バケツの水をひっくり返したみたいに雨が降ってるなあ。」と、(こんな言い方もあるんやで)と返すと、

Aちゃんは私の言葉に対して、「ほんまやな。っていうか、100個のジョウロで空から水やりしてるみたいやんな」と独創的でユニークな表現をして返してくれました。直感や発想が秀逸です。

大人の言葉を吸収して、自分なりの表現に仕立て直したAちゃんのセンスに脱帽しました。



嬉しいときにジャンプすることがありますね。しかし、ジャンプすると嬉しくなるものでもあります。

うさぎになってトランポリンで跳びはねています。ジャンプは全身の筋力や体幹の育ちにも楽しみながらつながります。

【自分ほどの背の高さの巧技台へのよじ登り】



よじ登りやジャンプなどの体全体を使う遊びは、着地時に足首やひざ、股関節を柔らかく曲げながらバランス感覚を養います。また、空間認知能力や危険を予測する力も身につきますね。挑戦心や恐怖心をコントロールしながら、自己効力感や達成感にもつながっていくことと思います。





夏が始まった、そんな合図を鳴らす
ような気持ちのよい水鉄砲のしびき。

今年、2026年のプールびらきに
現れたのは…。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和8年6月23日
保育主任通信 松尾 誠史
page_18



幼稚園のプールびらきに
荘厳な音楽のもと、子ども
たちの健康と安全な水遊び
の活動を願い、水の女神様
がやってきてくれました。
あじさい組の先生の双子の
妹といううわさも…。

女神さまからありがたい
安全に遊べる魔法の水を手
に受け取り、一人ひとり、
プールにまいていきました。

「メガミさま、ありがとう！」
「なあ、なんかいい匂いするー。」
「ほんまや！なんかお風呂の感じ？」



そんな私たちが遊ぶプールから救い
出したオタマジャクシ。掃除の時以来、
クラスで世話をしています。

毎日ちょっとずつ餌をあげて、見守
っているうちに、飼育水槽の淵に登る
まで成長しました。

このままでは生きていけないからと
いうことで、過ごしやすいところに
逃がし、お別れをしました。

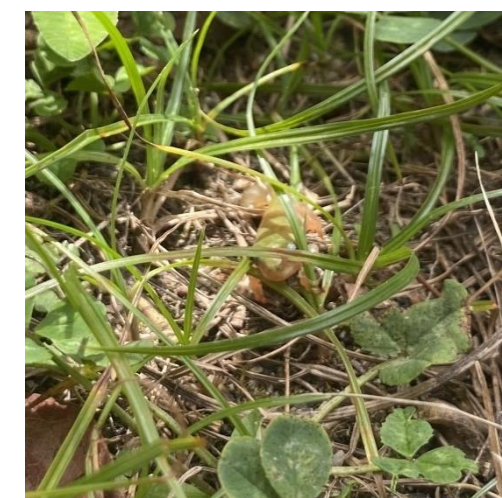


シロツメクサの茂る新しい土地に放ったのに、なかなか別れられません。
それもそのはず。とっても可愛いのです。

「見て見て！手で草をつかんでる！」
「かわいい！」

各クラスの飼育水槽にはまだオタマジャクシ
が元気に泳ぎ、それぞれ足が生えたり、手で石に
登ったりしはじめています。みんな元気なカエル
になってくれるといいですね。

自然や小さな生き物に触れ、心を動かし、命を
慈しむ気持ちを育ててほしいと願っています。





「こんなにいっぱい!」「ここにもあったよー!」「まだあるかなー?」
園庭の隅で“タコさんウインナー”を見つけた 3 歳児。同じかわいい形がたくさんあるので思わず集めたくになりますよね。



大津市立田上幼稚園
令和 8 年 6 月 18 日
保育主任通信 松尾 誠史
page_17



花壇の淵にたくさん整列したタコさん。なんだか何かを待っている行列のようです。

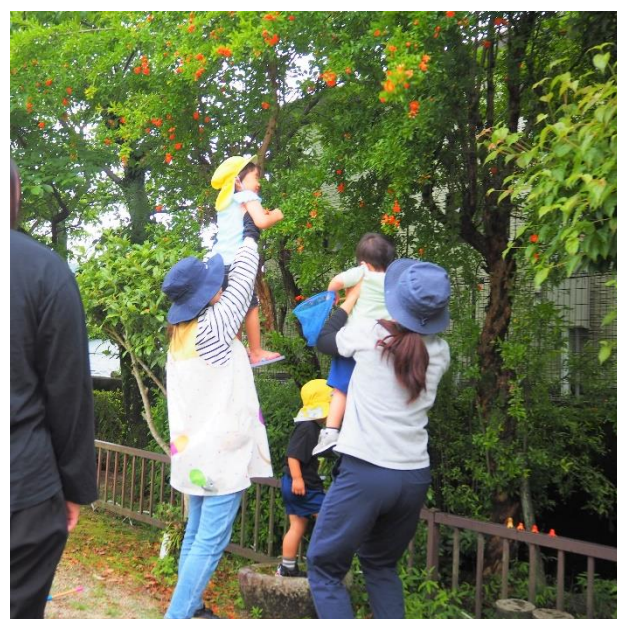
どうしても木の上のタコさんが欲しくて、抱っこしてもらおう子どもたち。

我々の先輩にあたる、その昔の先生たちが、未来の大津の子どもたちのこと、つまり今の園児のことに思いを馳せて植えられた木々です。

葉を茂らせ、花を咲かせ、心躍る実をつけ、季節を感じさせてくれます。

時代が変わっても、変わらない大切なものがありますね。

※タコさんウインナーはザクロです。



「ペタクリコだよ、ペタクリコ!」
と寒天の感触を楽しみながら思わず言葉が出る子ども。おそらく先日まで触っていた片栗粉の遊びからそんなネーミングを発想したのでしょうか。

少し前まで冷蔵庫に入れていたので冷たくて気持ちいいのです。

まるでゼリーのようです。崩すとその場では固まりはしないのですが、色の混ざり具合や透明感、そして柔らかい感覚がやみつきになっているようでした。

